

文教大学

アジア共同体のための国際理解教育－東アジアの近現代史から何を学ぶのか

実施期間：2013年9月～2014年1月

- 第1回 「アジア統合：東アジアの歴史から何を学ぶのか」  
(9月23日) 丸山鋼二 (文教大学国際学部・准教授)
- 第2回 「現在のアジア共同体論の議論」  
(9月30日) 鄭俊坤 (ワンアジア財団・首席研究員)
- 第3回 「東アジア社会の原像、その共通性と相違」  
(10月7日) 刘宏 (南洋理工大学社会科学院・教授)
- 第4回 「日本における「アジア主義」  
(10月14日) 一大日本帝国のグランドデザインと戦争責任・戦後補償における日独比較から」  
奥田孝晴 (文教大学国際学部・教授)
- 第5回 「日本の朝鮮植民地支配—その経験はアジア共同体にマイナスか」  
(10月21日) 崔学松 (東京大学・講師)
- 第6回 「日本の中国侵略—満州体験はどう生かされるべきか」  
(11月4日) 徐東周 (ソウル大学・教授)
- 第7回 「日本の戦争責任とアジア共同体」  
(11月11日) 大谷猛夫 (中国人戦争被害者の要求を支える会・事務局長)
- 第8回 「東アジアにおける二つの戦後：冷戦とアジア共同体」  
(11月18日) 魏志江 (中山大学垂太研究院・教授)
- 第9回 「東アジアにおける国際化教育」  
(11月25日) 三橋秀彦 (亜細亜大学国際関係学部・准教授)
- 第10回 「アジア共同体と民主主義：「言論の自由」の視点から」  
(12月2日) 楊棟梁 (南開大学歴史学院・教授)
- 第11回 「ITはアジアの相互理解を深めるか」  
(12月9日) 黄升民 (中国伝媒大学広告学院・院長、教授)
- 第12回 「英語はアジア共同体のリンガフランカとなり得るのか」  
(12月16日) 生田祐子 (文教大学国際学部・教授)
- 第13回 「中韓の英語教育と国際理解」  
(12月23日) 塩沢泰子 (文教大学国際理解学科・学科長、教授)
- 第14回 「異文化理解をめざす観光を考える」  
(1月20日) 山口一美 (文教大学国際学部・学部長、教授)
- 第15回 「アジア共同体のビジョン：市民の役割と学生に期待すること」  
(1月27日) 佐藤洋治 (ワンアジア財団・理事長)

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。